

1. 基本事項

作成日 令和03年06月24日(木)

施策		商工業の振興		期間	H. 30 ~ H. 4	施策担当部課名	商工振興課
第2次総合計画	行計画分野別名	大項目	200003 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）	施策の概要 (目的や対象)		深谷市の商工業の振興を目的とする。 商店街振興、工場立地促進、起業支援等行う。	
		中項目	200002 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり				
		小項目	200001 商工業の振興				
重要度及び満足度の状況	本施策は、重要度も満足度も低い状況。これは必要なサービスは享受できるが、市内で買い物完結しない、満足するだけ商品やサービスが供給されていないと感じる市民が多いためと考える。			施策の推進のための主な取り組み	中小企業経営の安定化と成長を支援		
施策を取り巻く社会状況等	令和元年度終盤から猛威を振るう新型コロナウイルス感染症を抑えるため、国を挙げて感染症対策に取り組んでいる。経済は分野により影響の度合いが違うが、総じて負の影響が出ている。				商店街のにぎわいづくりを支援 企業誘致・留置への取り組み 起業しやすい環境づくりへの取り組み		

2. 評価指標

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	指標値（上段は目標値・下段は実績値）					
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標	法人市民税額	百万円	-	1,370.00	1,383.00	1,395.00	1,408.00	1,420.00
	市内の法人市民税（均等割と法人税割の合計）		1,556.00	1,483.00	1,379.00	1,175.00	0.00	0.00
	新たに誘致した企業数（累計）H18.6以降の累計数	社	-	56.00	60.00	64.00	68.00	72.00
	工場等立地促進事業者指定申請書		53.00	54.00	60.00	61.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	1	1：現状維持 2：拡充 3：縮小
<p><評価コメント></p> <p>成果指標をみると、法人市民税は目標値よりも220百万円低く、工場等立地促進事業者指定数も目標64社よりも3社低く、目標値を下回った。この結果については新型コロナウイルス感染症の経済に対する影響が大きいと判断できる。令和2年度は事業者に対し事業継続のための支援や、新型コロナウイルス感染症対策のための支援を行った。また一店逸品（一品）事業として、新型コロナウイルス感染症後も見据えて事業を展開した。</p>		
評価者		商工振興課長 岩田 展雄

4. 改善・改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な改善策）

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充 <input type="checkbox"/> 事業の新規立案 <input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小 <input type="checkbox"/> 事務事業の再編 <input checked="" type="checkbox"/> その他	令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が続いている。感染症の影響に対処する支援を、経済回復期も見据えて行なっていきたい。事業所の商品をPRしていくなど、継続的に行っていきたい。

5. 二次評価

<p><所属長の見解></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで通りの経済活動が行えなかった。特に人とのかかわりを前提とする接客業において顕著で、経済全体に影響を及ぼしている。これに対し、各事業者や国、県、市が実施してきた感染症対策が効果を出し始めている。コロナ後も見据えた商工支援策を実施していきたい。</p>	
所属長	産業振興部長 佐藤 靖彦